

|   |   |                |       |
|---|---|----------------|-------|
| 年度 2009 学期 前期   | 曜日・校時 金・4   | 必修選択 必修        | 単位数 1 |
| 授業科目/(英語名)  | 英語コミュニケーションⅡ<br>(English Communication II)  |                |       |
| 対象年次 1年次  | 講義形態 演習   | 教室             |       |
| 対象学生(クラス等)  | Te  | 科目分類 外国語科目(英語) |       |
| 担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー<br>担当教員: 橋本 高明 /Eメールアドレス: /研究室: 非常勤講師控室 /TEL:<br>/オフィスアワー: 金曜日昼休み  |   |                |       |
| 担当教員(オムニバス科目等)  |   |                |       |
| 授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標<br>授業のねらい:<br>この授業科目では、以下に示す言語技能の習得を目指す。<br>a) 平易な英語による場面描写を聞いて、それに対応する写真を選択することができる。<br>b) 平易な英語による質問を聞いて、それに対応する適切な応答の表現を選択することができる。<br>c) 平易な英語による対話を聞いて、その内容、話者の意図、場面設定を正確に理解することができる。<br>d) 平易な英語による短い告知・ニュース・講演・演説などを聞き、その内容を正確に理解することができる。<br>e) 平易な英語の単文中の空欄に適切な語を補って単文を完成することができる。<br>f) 平易な英語の文章中の空欄に適切な語を補って文章を完成することができる。<br>g) 平易な英語の文書・手紙・広告・掲示物などを読んで、その内容を正確に理解することができる。<br>授業方法:<br>毎週、教科書に沿って演習を行う。進度は各週2課ずつの予定。<br>授業到達目標:<br>担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上の場合において、上記「授業のねらい」の(a)-(g)の言語技能を運用できるようになる。   |   |                |       |
| 授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)<br>授業内容(概要)<br>第1回 授業の内容・方法の説明、TOEICの概要<br>第2回 Chapter 1: Meeting New People / Chapter 2: Shopping<br>第3回 Chapter 3: Entertainment / Chapter 4: Transportation<br>第4回 Chapter 5: News / Chapter 6: Nature & the Environment<br>第5回 Chapter 7: Housing / Chapter 8: Health & Medical Care<br>第6回 Chapter 9: Housework & Electrical Appliances / Chapter 10: Vacations<br>第7回 復習1、中間試験<br>第8回 Chapter 11: Getting a Job / Chapter 12: Working in an Office<br>第9回 Chapter 13: Business Communication / Chapter 14: Manufacturing<br>第10回 Chapter 15: Marketing / Chapter 16: Services<br>第11回 Chapter 17: Finance / Chapter 18: Public Facilities<br>第12回 Chapter 19: IT & Lifelong Education / Chapter 20: Parties and Communication<br>第13回 試験形式演習1<br>第14回 試験形式演習2<br>第15回 復習2、期末試験 |   |                |       |
| キーワード   | TOEIC   |                |       |
| 教科書・教材・参考書  | 教科書:<br>Matsuoka, Noboru. <u>More Power for the TOEIC Test</u> . Tokyo: Kinseido, 2007.<br>参考書:<br>小野経男 『チャート式新英文法』 東京:数研出版, 1990.  |                |       |
| 成績評価の方法・基準等   | この授業科目を履修して単位取得するためには、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上の場合において、上記「授業のねらい」の(a)-(g)の言語技能を運用できると判定されなくてはならない。成績は2回の試験と授業発表・宿題・提出物による総合評価で決定する。原則として、2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表・宿題・提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく4回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。 |                |       |
| 受講要件(履修条件)  |   |                |       |
| 本科目の位置づけ<br>/学習・教育目標  |   |                |       |
| 備考(準備学習等)   | 各週の授業では、テキストの2つの課の内容を演習する。履修者は該当の課を予習し、演習準備をして授業に臨むこと。各週の授業には、テキスト・辞書・筆記具をかならず持参すること。   |                |       |